

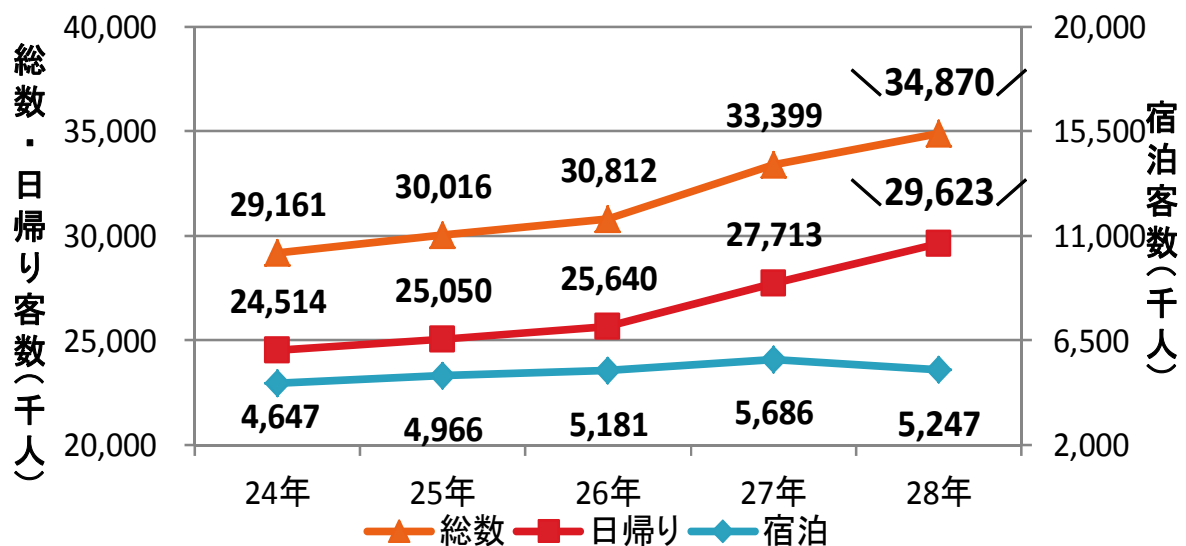
平成29年 6月 19日提供		
資料提供		
担当課	観光振興課 (動態調査全般について)	観光交流課 (外国人観光客について)
担当者	木瀬・戎脇	津井田・中瀬
電話	073-441-2777	073-441-2789



平成28年和歌山県観光客動態調査(確定値)

観光入込客総数が史上最高の約34,870千人に！！

- 平成28年の日帰り客数は、約29,623千人(対前年比106.9%)と前年の日帰り客数約27,713千人を大きく上回った。
- 宿泊客数の約5,247千人を加えた観光入込客総数は、約34,870千人(対前年比104.4%)と前年に比べて約1,471千人と大幅に増加し、2年連続で史上最高を更新した。
- 宿泊者数については、大型宿泊施設のリニューアル工事による休館等の影響から約5,247千人(対前年比92.3%)となり、約439千人減少した。
- 外国人宿泊客数は約500千人(対前年比117.0%)と前年の史上最高を大きく更新した。
- 平成29年度は、県内周遊の促進を目的とした「水の国、わかやま。」キャンペーン、「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」といった取組のほか、先日認定された2つの日本遺産等も活用した取組を更に推進。



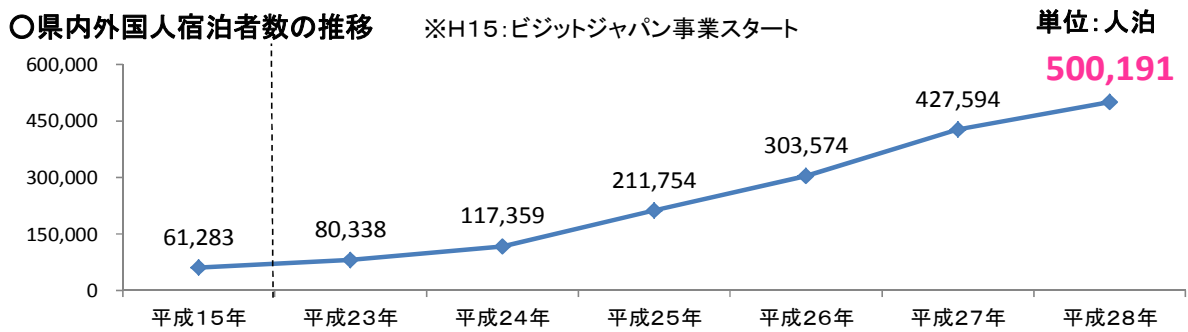
(単位:千人)								
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	対27年増減	対27年比
宿泊	4,339	4,647	4,966	5,181	5,686	5,247	-439	92.3%
日帰り	23,278	24,514	25,050	25,640	27,713	29,623	1,910	106.9%
総数	27,627	29,161	30,016	30,821	33,399	34,870	1,471	104.4%

外国人宿泊客数について

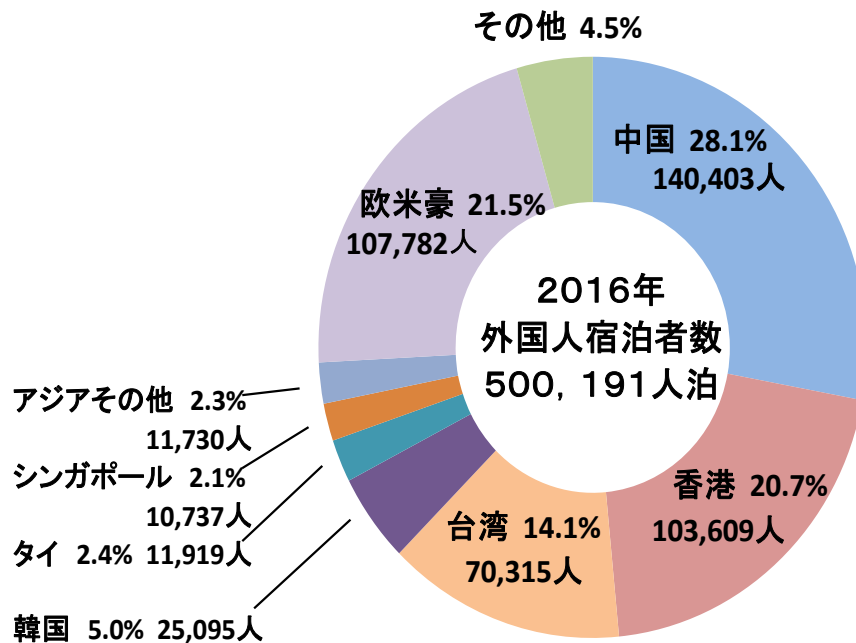
平成28年の本県への外国人宿泊客数は前年の過去最高記録をさらに更新する**500,191人泊**(対前年比117.0%)を記録した。また和歌山市が対前年比45.7%増の15万人台となり、田辺市も43.8%増の3万人台となるなど、好調に宿泊客数を伸ばした。

● 増加要因

これまでの継続的なプロモーション(和歌山の認知度を高めるために、E UROSPORTやCNNなどの世界的メディアとの共同キャンペーン、年間45回にのぼる海外プロモーションや年間83回にのぼる各市場からのメディア取材やエージェントの下見支援などを実施)に加え、LCC航空路線の拡大やビザの緩和等が、主な増加要因として考えられる。



○県内外国人宿泊者数のシェア(国・地域別)



史上最高更新の要因

● 要因の背景

史上最高の入込客数を記録した昨年に引き続き、「和歌山ブランドの拡大」と「持続可能な観光地づくり」を基本に、国内外に向けて本県の誇る世界遺産ブランドを中心にメディアや旅行会社への提案活動を継続的に展開し、本県の魅力を発信するとともに、地域と協働した新たな魅力創造への取組や、公衆トイレやフリーWi-Fi、多言語通訳等の受入環境の整備を進めてきた結果、史上最高の更新につながった。

● 具体的取り組み

1 「水の国、わかやま。」キャンペーン

「水」を切り口に世界遺産ブランドを取り込みながら、まだ知られていない和歌山の魅力を発信する「水の国、わかやま。」キャンペーンにより周遊を促進した結果、由良町・旧花園村(かつらぎ町)・古座川町・旧古座町(串本町)などで入込客が増加してきている。



2 大河ドラマ「真田丸」・戦国わかやま誘客キャンペーン

平成28年大河ドラマ「真田丸」の主人公真田信繁(幸村)のゆかりの地である高野山・九度山に加え、徳川ゆかりの地など紀北エリアにある歴史スポット等を含む地域の観光資源を効果的に情報発信することで、紀北エリアでの周遊と滞在(消費)を促進した。中でも、九度山町では約1,766千人(対前年比205%)の入込客数を記録した。

平成29年度の取組みについて

「水の国、わかやま。」キャンペーン

清らかな「水」を切り口に、まだまだ知られていない和歌山の魅力を発信する「水の国、わかやま。」キャンペーンを拡充。ガイドブック、ウェブサイトのリニューアルにより、水のアクティビティや滝など、コンテンツを充実させるとともに、インバウンド対策として英語版ガイドブックを作成し、情報発信を強化する。

また、ネイチャー・フォトグラファー内山りゆう氏による写真展を東京、大阪、福岡で開催し、豊かな森に育まれた和歌山の水の美しさを大都市圏でアピールする。

New

「サイクリング王国わかやま」

県内全域にサイクリングロードを整備することにあわせて、サイクルステーションの配備やサイクリストに優しい宿泊施設の拡大を行い、豊かな自然の中、安全・快適にサイクリングを楽しめる環境を提供。

カフェや温泉など周辺の観光スポットも合わせて「サイクリング王国わかやま」として、自転車・アウトドアの専門誌などターゲットに近い媒体や、有名バイクメーカーとのタイアップ企画などを通じて、国内外に発信。

New

「わかやま歴史物語」

近年の歴史ブームのなか、本県に所在する「歴史・文化」に関する多数の資産を「100の旅モデル」として和歌山の新しい楽しみ方を、周遊して楽しめる“歴史スポット”や“食”、“地域ならではの体験”とともにウェブサイトや雑誌等で紹介し、歴史・文化に興味のある新たな客層を取り込む。

また、「熊野那智大社御創建1700年」、「西国三十三所草創1300年」をはじめとする周年行事の情報発信を行う。

New

滞在型周遊ルートの構築

～世界遺産「熊野古道」周遊拡大と魅力向上～

平成28年に追加登録された大辺路ルートの受入体制整備や、熊野古道沿いの新たな見どころの創出等を通じて、熊野古道の新たな魅力を発信し、ゴールデンルートと言われる中辺路「発心門～熊野本宮大社」に集中している来訪客の周遊拡大、滞在時間の延長を促進する。

～日本遺産を活用した誘客促進～

日本遺産「鯨とともに生きる」を活用し、情報発信拠点を整備する等新たな観光資源を創出のうえ、世界遺産とあわせた「山と海のダブル遺産」、また南紀熊野ジオパークと合わせると3つの観光ブランドを有する熊野エリアという強みを最大限に生かし、熊野エリアの滞在型周遊ルート構築のため、積極的なプロモーションを展開する。また、平成29年4月に新しく認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」「『最初の一滴』醸造醤油発祥の地 紀州湯浅」の2つの日本遺産を活用した取組を実施する。

New

<インバウンド受入環境高度化>

増加するFIT(外国人個人観光客)への対応のため、交通事業者等と連携して、エリアで共通する整備ルールに基づいて案内表示等を充実し移動環境の改善に取り組むとともに、インバウンド対応が改善した観光ルートの情報発信により個人観光客がストレスなく移動できる環境を整備する。

New

<インバウンド観光戦略>

海外プロモーションの新たな展開として、欧米豪の富裕層やドイツ・イスラエル等の新規市場をターゲットとしたプロモーションの強化に加え、サイクリングやゴルフなどのインバウンドスポーツツーリズムの推進、インバウンド向け体験プログラムの情報発信によるFIT(外国人個人観光客)の長期滞在型周遊観光を促進する。

民間公表データについて

2年
連続

2016, 2015年 “春” 旅行人気上昇エリアランキング
全国「第2位」！！ (楽天トラベル)

2016年 家族旅行に人気の温泉地ランキング
白浜温泉 全国「第1位」！！ (楽天トラベル)

2年
連続

2015, 2014年 年間国内旅行都道府県別伸び率ランキング
全国「第2位」！！ (楽天トラベル)

2016年 年末年始国内旅行 人気上昇エリアランキング
全国「第4位」 (楽天トラベル)

2016年 秋の訪日旅行 人気上昇エリアランキング
全国「第4位」 (楽天トラベル)

2015年 秋の旅行先 人気上昇エリアランキング
全国「第1位」 (楽天トラベル)

2015年 シルバーウィーク 人気上昇エリアランキング
全国「第8位」 (楽天トラベル)

2015年 ゴールデンウィーク 国内宿泊県別人気ランキング
全国「第3位」 (JTB)

2015年 夏休み×旅行関連の検索ランキング
全国「第1位」 (インターネット検索サイト Google)